

鹿児島県における気候変動の影響や適応に係る事例

分野	水環境	実施者	鹿児島県環境保健センター
事例名	鹿児島湾における水温変動について		

1 目的

1980年～1999年の20年間における鹿児島湾奥部の中央付近（基準点3：水深約140m）と湾中央部の中央付近（基準点13：深約230m）の鉛直方向の水温に係る経年変化について報告します。

2 結果

(1) 基準点3の表層から水深80mまでと、基準点13の表層から水深110mまでの年度平均の水温の経年変動については、顕著な変化は認められませんでした（図2）。

(2) 基準点3及び基準点13の深層部においては、年度平均の水温の経年変動は上昇傾向にあり、20年間（1980年～1999年）では、基準点3が約1度、基準点13が約1.5度上昇していました（図3）。



図1 調査点位置図

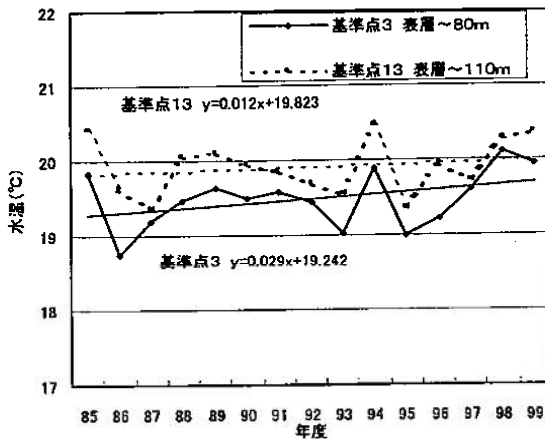


図2 成層部の年度平均水温の経年変化

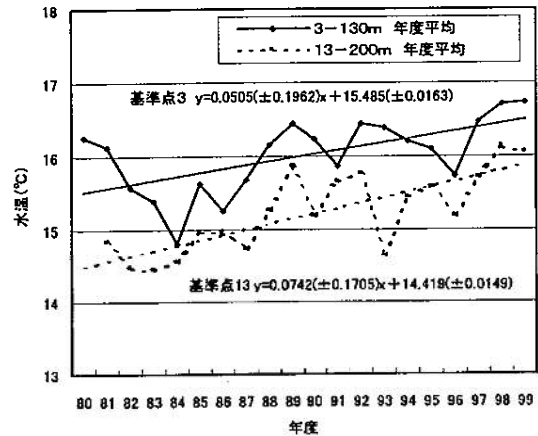


図3 最下層部の年度平均水温の経年変化

実施部局(電話)	鹿児島県環境保健センター 水質部 (099-225-5131)
ホームページ	https://www.pref.kagoshima.jp/ad08/kurashi-kankyo/kankyo/kankyohoken/shoho/syohou1-1.html
報告書等	鹿児島県環境保健センター所報 第1号(2000)